

富山大学附属病院かわら版

よくする
よく知る
よく生きる

KUSU:!

くす〜る

2024 Vol. 147

特集

Special・インタビュー

QOL向上を目指して とことんキレイに美しく治す

形成再建外科・美容外科 教授
病院長補佐(経営担当) 手術部 部長 佐武 利彦

Renewal!!!

Pick Up・インタビュー

縁の下の力持ち

薬剤師の新たな挑戦

薬剤部長 教授 副病院長 加藤 敦

患者さんを支える

一番の味方であるために

看護部長 副病院長 丸池 小百合

Column

食と健康

災害時の食事 パッククッキングのすすめ

読む薬箱

バイオシミラーの使用を推進しています

Introduction・専門看護師紹介

Special Interview

佐武利彦

さたけ

としひこ

形成再建外科・美容外科教授
病院長補佐(経営担当) 手術部部长

体の表面のあらゆる異常を治す形成再建外科。患者さんの生活の質(QOL)を向上させることを目標に掲げる佐武医師にお話を伺いました。

QOL向上を目指して

とくにとんキレイに美しく治す

「形成外科医を目指したきっかけを教えてください。」

幼少期の家庭での経験から、当初は精神科医を目指していました。医学部に進学し、実習で自殺未遂で大ヤケドを負った患者さんを担当しました。その患者さんは一命は取り留めたのですが、体が硬直して首も手も動かない、目の開閉もできない状態でした。そのような状態から救い出して手術治療ができるのは形成外科の領域だと知り興味を持ちました。主に体表の修復を専門とする形成外科は、経過や成果も目に見えて分かりやすい。ケガだけでなく、先天異常や、がん治療の後遺症などから来る機能異常に苦しむ人も大勢いる現状を知り、次第に形成外科医を志すようになりました。

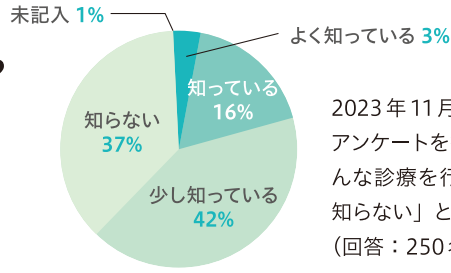
「形成外科というジャンルは、どちらかというとマイナーなイメージがあります。」

私が志した頃は特にそうでした。歴史が浅い専門科ということもあり、富山県はもちろん全国的にも形成外科を有する病院は少なく、他の診療科がそれぞれ形成診療を行っている状況でした。当院では2020年1月に形成再建外科が誕生しました。現在は私を含め9名の医師が在籍し、様々な外科系の診療各科と連携して診療を行っています。

一般的にあまり知られていない？

形成外科とは

体の表面の先天的、後天的な原因により生じた異常を手術をはじめとした特殊な治療により修復する専門科。



2023年11月、富山県民を対象に独自アンケートを行ったところ、8割が「どんな診療を行っているのかあまりよく知らない」という回答でした。
(回答：250名 / 474名)

「佐武医師がとくに力を入れてい
る診療や研究分野について教えて
ください。」

患者数として多いのは、乳がんの術後の乳房再建です。全国では毎年9万人ぐらいの方が乳房切除手術をされていますが、その後遺症に悩む方が大勢いらつしやいます。

当院では複数の専門家チームからなる「乳がん先端治療・乳房再建センター」にて乳がんの診断、治療から乳房再建までを系統的に行う体制ができています。当科では少しでも元の状態に近づくよう、大きな傷痕を残すことなく、自家組織のメリットである温かく柔らかい自然な形の乳房の再建を目指します。その他にもリンパ浮腫の専門外来や顔面外傷子どもの先天異常や変形、顔面神経麻痺などさまざまな病気に対応しています。当科では多ジャンルのエキスパートを育成し、どんな高度な形成再建治療も可能にしていきたいと思っています。実際にこの4年程で患者数は増加し、全国から患者さんが来院、県内でも指折りの治療レベルと実績を誇る診療科となりました。現在は新たな取り組みとして、性同一性障害の専門外来もスタートし、

トランス男性への乳房切除術（男性型胸壁形成術）を行っています。

「現在は手術部長として病院経営にも携わっていらつしやいます。今後の医療についてどうお考えでしょうか。」

人口減少時代、20〜30年後には医療へのアクセスや偏在などの問題が生まれることが予想されます。富山の拠点病院として地域医療をどう支えていくか、当院のことだけでなく患者さんと地域の医療施設との結びつきを総合的にデザインしていく必要があると感じています。

今年から医師の働き方改革もスタートし、限られた時間の中でいかに上質な医療サービスを提供し続けるかが目下の課題です。患者さんを救うためには医師もハッピーでいてほしい。若い医療者のためにも抜本的な改革を進めながら新たな道筋を引いてあげるのが、私の世代の役割だと考えています。それと同時に形成外科の分野もやっぱり好きなので、専門医としての診療研究も進めていきたい。医療機器メーカーと協働で製品開発にも携わってきましたし、今ほども30分前までオペ室で手

術していました。個人的にはメリハリをつけて医療者としての歩みを進めていきたいですね。

「佐武医師からは診療研究、そして手術への飽くなき向上心と愛を感じます。手術室での落ち着いた振る舞いから患者側としては安心してお任せできる印象を持ちました。最後に一つ、マイクロサージャリーなど大変繊細な手術を日々こなされています。佐武医師はもともと手先も器用だったのでしょうか。」

いえ、どちらかというと不器用でしたよ。成績も中学生の頃は後ろから数えたほうが早いほどでした。しかし一度取り組みたいと決めたことは諦めずに極めていく性格で、根気と努力で力をつけ、様々な困難を乗り越えてきました。決して天性の才能などはありませんよ（笑）



INFORMATION

富山大学附属病院手術室のクラウドファンディングを実施します



365日24時間患者さんが安全に安心して手術を受けられる環境を維持するために皆様のご支援をお願い致します



自家組織（穿通枝皮弁）を用いた乳房再建手術。1mm程度の微小血管を顕微鏡下に吻合し、神経や筋肉・骨や腸管など様々な組織を移植するマイクロサージャリー技術を駆使する。



薬剤部長 教授 副病院長
かとう あつし
加藤 敦



縁の下の力持ち

薬剤師の

新たな挑戦

対物から対人へ

これまで長きにわたり、薬剤師の主な業務は調剤・製剤で、調剤室の中で完結していました。しかし今、薬剤師は病棟の患者さんのもとへ飛び出し、緩和ケア、感染対策や栄養サポートなどのチーム医療に積極的に関わるスタイルへと変わり始めています。変化するニーズに持続可能に対応するため、新たに始めたのが病棟三人体制です。病棟ごとに一人を調剤室に、二人を病棟に配置し、分担して業務にあたることで、入院患者さんのお薬の不安や疑問に耳を傾けたり、医師や看護師からの薬剤相談にも臨機応変に対応できるようになりました。

また、調剤室ではAIを使ったデジタル化も進めています。正確さ、迅速さが求められる調剤の現場では最新鋭の調剤補助システムを導入することで、効率化だけでなく安全性も

向上します。タスクシフト・タスクシェアを柔軟に進めることが、患者さんの安全安心な薬物治療に繋がっています。

起死回生の チーム運営に学ぶ

僕は中日ドラゴンズの熱狂的なファンです。2年連続最下位だったドラゴンズの今シーズンの快進撃は、前例にとらわれず、柔軟な思考でチーム改革し続けてきたことに要因があると考えます。組織はしなやかであれば多少のことでは折れません。やがてそれは逆境を跳ね返す強さにもなります。

2024年夏から、医師の診察前に薬剤師が患者の薬歴をヒアリングする「薬剤師外来」を県内先駆けて開始します。がん診療の領域からのスタートになりますが、医師の診療がスムーズになり、薬剤師にとって新たなやりがいにつながるでしょう。

現在は情報過多な変革期だからこそ、薬剤師自身が考え続けられることが大切だと考えます。知識は思考というプロセスを経てこそ「知恵」となっていて活かされます。薬剤師一人ひとりの個性を輝かせ、チームとして支え合えるよう、薬剤部長として努力を続けていきます。

INFORMATION

未来の薬剤師・研究者の君へ！
ひらめき☆ときめきサイエンス

薬剤業務を体験できるプログラム。小さな化合物(薬)で病気を治せる不思議さや創薬研究の魅力を紹介します。
※高校生対象

開催日程：
2024/7/20(土)
詳しくはこちら▶





看護部長 副病院長

丸池 小百合

まるいけ

さゆり



患者さんを支える 一番の味方で いるために

看護師の働き方改革

当院には、現在看護師770名、看護補助者70名が在籍しています。医師や技師など多職種が協働する中で、特に患者さんに24時間体制で寄り添い続けるのが看護師です。看護師は患者さんにとって一番の味方であり代弁者。患者と看護師という関係性の前に「人と人」であることを忘れず、気遣いのあるコミュニケーションを心がけています。

現在、医師の働き方改革などに伴い、看護部の業務量は増加しています。当院では看護師の職場満足度を上げることは患者優位の看護に繋がると考え、勤務体制の再構築に努めています。例えば育児中の職員の短時間勤務期間を一年延ばし、無理なく長く働いていける環境を整えると同時に、フルタイム勤務者にも相応のケアを行うなど、一人ひとりの負担を極力軽くし、患者さんにゆとりを持つて向き合える体制を作っています。

多様な患者さんに 柔軟に寄り添う

近頃はインターネットなどを通じて誰でも医療の情報を得られるようになり、患者さん自身においても多様な考え方を抱いていらっしゃいます。一人ひとりの価値観をまず受け止め、その上で視野が広がる選択肢を提供すること、医療ソーシャルワーカーと協力してその人に最適なサービスを提案することを心がけています。

退院後の在宅治療はご家族の協力も欠かせないため、入院中からご家族ともまめにコミュニケーションを取り、信頼関係を築くようにしています。在宅治療時の選択肢の一つとして、今後は訪問看護ステーションもますます必要とされ、それに伴い感染や褥瘡などを専門とする認定看護師がより一層求められていくでしょう。当院は認定看護師を養成する教育機関でもあります。公開研修なども積極的に行い、地域とオープンに繋がることで県全体としての医療の底上げを目指しています。

医療をとりまく状況は日々進歩しています。患者さんと対等な立場に立ち、小さな声にも耳を傾け、変化のスピードが速い時代に対応していきます。

INFORMATION

看護補助者を随時募集しています

看護師のサポート業務を担う看護補助者は無資格でもできる仕事です。一緒に富山の医療を支えてくださる方、お待ちしております。



災害時の食事

アウトドアレジャーにも使える！

パックスッキングのすすめ

栄養管理室 室長 甲村 亮二

災害時、水道が使えない状況において水は貴重です。「パックスッキング」は大切な水を節約できる調理方法。耐熱性のポリ袋に食材を入れて、袋のまま鍋で湯せんし加熱するだけで調理ができます。

基本のSTEP

- 1 材料をポリ袋に入れ口をしっかり縛る
- 2 鍋に皿を敷き、深さ 1/3 まで水を注ぐ
※ポリ袋が鍋底に直接触れないよう注意
- 3 鍋にポリ袋を入れ強火で加熱する
- 4 袋ごと取り出し容器に分け入れて完成！



MERIT メリット

電気ポットでも代用できます！

- 普段の食べ慣れた食材が使える
- 食材の下ごしらえをすればひとつの鍋で複数の料理を同時に調理でき、時短になる
- 加熱に使った水は汚れない限り何回でも使える
- ポリ袋のまま器に入れば洗物が出ない
- 保存食を必要以上に買い揃える必要がなく、家にある食材を利用できるので無駄な費用がかからない

調理例 卵スープパスタ

【材料】1人分

- ・スパゲティ(乾) …70g ・水…210ml
- ・卵スープ(フリーズドライ) …1袋

※スープの種類はお好みで。液体商品を使う場合は湯を切ってから和えてください。

栄養価 エネルギー 293kcal / たんぱく質 10.9g / 食塩相当量 1.3g

- 1 ポリ袋に水と半分折ったスパゲティを入れ、口を縛る（ポリ袋の中に空気を少し残したまま、根元からねじり上げ、上の方で結ぶ）。
- 2 鍋の中に皿を敷き、鍋の深さ 1/3 まで水を注ぐ。
- 3 1 を入れ、フタをし、強火にかける。沸騰後、中火にし、表示時間より少し長めに茹でる。
- 4 結び目をハサミで切り、卵スープのかたまりを加えて混ぜ、袋から出して盛り付ける。



参考文献：一部改変して作成「いざという時のために！！食品の家庭備蓄のすすめ」（公益社団法人 富山県栄養士会 / 富山県 令和3年3月）

バイオシミラー

の使用を

推進しています

薬剤部 橋本 美紀恵

バイオシミラーをご存じでしょうか？バイオ医薬品（インスリンや抗体製剤など）の後続品です。バイオ医薬品は、細胞培養技術などのバイオテクノロジーを応用し、「生物が持つ力」によって作られた医薬品です。

がん、関節リウマチ、糖尿病などに使用されていますが、高額な医薬品となっています。そこで、**先行バイオ医薬品と同等/同質の品質・安全性・有効性を有し、価格が安い**バイオシミラーの使用を推進しています。



【読む薬箱】

現在、バイオ医薬品の中でバイオシミラーが発売されている薬は18種類です。**バイオシミラーについて知りたい時は薬剤師へ相談してください。**

	低分子医薬品 (一般的な薬)	バイオ医薬品
はじめに 開発された薬	先発医薬品	先行バイオ医薬品
特許切れ後に 販売される薬	ジェネリック医薬品 (後発品)	バイオシミラー (バイオ後続品)

母性看護 専門看護師

看護部 MFICU 助産師

渡辺 もも子



周産期の女性に寄り添います！

私は2023年に富山大学の大学院修士課程を修了し、当院初の母性看護専門看護師になりました。母性看護専門看護師は、さまざまな職種の人と協働しながら、出産前後の女性をはじめ、あらゆるライフステージにある女性とそ

り、妊婦さんのお話をゆっくり時間をかけて聴き、ハイリスクな状態にある方には病棟でのカンファレンスや地域と連携し、協力してサポートするようにしています。

私自身は特に産科救急、糖代謝異常妊婦の看護に力を入れていきます。産科救急では、富山県内の医師と共に日本母体救命システム普及協議会（J・C・I・M・E・L・S）が

提供することを目指しています。妊娠・出産・育児は女性のライフサイクルにおいて大きな転換期となります。特に近年は、晩婚化、生殖医療の高度化、家族からのサポート不足など、健康問題や社会的問題を抱えた妊産婦が増加しています。ご本人とご家族に予防的・継続的な介入を行うため、多職種との連携、専門看護師としての実践や調整、母性領域の知識や技術のレベル向上に向けたスタッフ教育を行っています。

主催する母体救命コースのインストラクターとして活動し、日本の妊産婦死亡の更なる減少を目指しています。また、妊娠糖尿病を含む糖代謝異常妊婦に対しては、とやまCDE（旧とやま糖尿病療養指導士）の資格を生かし、妊娠中から分娩、産褥に向けて、母乳育児の継続や非妊時体重の早期復帰の指導などエビデンスに基づいた情報提供や支援を行っています。

私の所属するMFICU(母体・胎児集中治療室)では、倫理カンファレンスを毎週実施し、最善の医療やケアの方向性を検討し、妊産婦を尊重した看護を提供できるよう日々努力しています。また、外来では助産師外来を実施して

おこなっています。母性看護専門看護師は、母性看護学に基づいた知識・技術を持って、妊産婦やご家族の健康や生活の質の向上に貢献していきます。

専門看護師とは？ 特定の専門看護分野の知識・技術を持った看護師。

富山大学附属病院支援基金

ご寄附のお願い

富山大学附属病院では、県内唯一の特定機能病院として、皆様が安心できる質の高い先進医療の提供を推進するため、病院支援基金を受け入れています。医師、薬剤師、看護師、コメディカルスタッフの教育にさらに力を入れ、皆様と一緒に富山大学附属病院を発展させてまいります。皆様のご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

4つの目的のために大切にに使わせていただきます



診療環境の充実



医療スタッフの育成




院内環境の整備




医学研究の進行

お申込み

「寄附申込書」に必要事項をご記入の上、杉谷地区事務部病院企画課まで郵便またはFAXにてお申込み願います。寄附申込書の入手方法は以下のとおりです。

 **病院内** 掲示板コーナー他でご案内しています。

 **郵送** 右記宛てにご連絡いただけますと、ご自宅に郵便で寄附申込書をお送りいたします。

 **附属病院ホームページ** 専用ページから入手できます。
<https://www.hosp.u-toyama.ac.jp/special/kikin/>



お問合せ

ご不明な点はお気軽にお問合せください。

富山大学附属病院
杉谷地区事務部病院企画課

TEL 076-434-7101

FAX 076-434-1463

Mail hosoum@adm.u-toyama.ac.jp

新任教授のご紹介

令和5年着任

救急科 土井 智章 教授 炎症性腸疾患内科 渡辺 憲治 教授
小児科 今井 千速 教授 耳鼻咽喉科 森田 由香 教授
麻酔科 高澤 知規 教授

かわら版をリニューアルしました

富山大学附属病院で働く医師や職員の魅力を、地域の皆さんにより分かりやすくお伝えしたいため、広報誌「かわら版」をリニューアルしました。

タイトルの「Kusu:L (くす〜る)」は、読む「くすり」、よ「くする」、「くすっ」と笑う・・・をイメージしたネーミングです。富山大学附属病院の「人」を発信していきます。今後とも、よろしくお付き合いください。



当会報は、UDフォントを使用しております

Kusu:L

富山大学附属病院かわら版

Kusu:L (くす〜る)

Vol.147 2024年5月31日発行

国立大学法人【特定機能病院】
富山大学附属病院



発行：富山大学附属病院
〒930-0194 富山県富山市杉谷 2630 番地
TEL 076-434-2315 (代表)
<https://www.hosp.u-toyama.ac.jp/>

本紙に掲載されている文書・記事・写真等の無断転載、転用及び複製等はお断りします。